

慶應義塾大学 法学部 3年

竹内 優芽

このインターンシップを始めようと思ったきっかけは、「営業」を自分の目で見て体験してみたかったからです。就職活動が少しずつ始まる中で、自分には何が向いているのだろう、どのような社会人になりたいのだろう、という思いを抱いていた時にこのインターンに出会いました。

業務としては、コンサルの議事録作成や新規対象先へのテレアポが主なものです。新入社員の方と同じような業務をさせて頂きました。これだけでも普段の生活では経験できないものですが、特にこのインターンに参加してためになったことは毎朝 40 分ほど行われる「朝会」です。この「朝会」では社長自らが全体・個人への業務連絡を行います。時に笑いを交えながらも緊張感のある環境での 40 分間は、ここでしか経験できないものだと感じます。実際に、この朝会に他会社の社員さんが参加しにくるほどです。

このインターンに参加し、「働く」ことの大変さや会社の掲げる理念と自分の考えの一致の重要性を考えるきっかけになりました。AI が進展し人が行う事務職がなくなっていくと言われていますが、「営業」は今後も人が行う業務として残っていきます。学生のうちに一度「営業」を体験してみる事は、自分の将来を考える上で重要な検討材料の一つになると思います。営業を経験したい方、視点を広げてみたい方、社会に飛び込んでみたい方にはぴったりのインターンだと思います。ぜひ初めの一步を踏み出してみてください。